

和歌山縣遭難者遺族  
救助義金

(四) (三) (二) (一) 本社に達したる義捐金は取扱りて和歌山縣知事  
に呈する所なり  
義捐金は一口金十錢以上です  
芝口銀便局拂にして取組まるべし  
義捐金募集の期限は来る二月十日迄です

廿六年一月十日 時事新報社

田原新報

なし

るに至れり今日と爲りては千言萬語も無用に  
うしに處する魔様の手段などを得ず止むを得ぬ

其の事は、之を當局者の見込みに歸するの外なきが、眞事情より説て今後の手段に及ぶは事論を

を得ざるの順序なりと知る可し抑も現内閣は各の譲拂にして明治政府の粹を蒐めたるより其政も從來に比して自から新なる可しどす

設けたる處なりしに粗織以來の政略は其特勢にて何一つとして見るに足るものなし先づ其勢

て見れば立憲の政を行ふ今時代に政府の所謂無爲超然の旨を唱へたるは如何なる才と云ふに必ずしも古流の政風を學び無爲にして

この手段に非ず又物外に超然として萬事自然仕するの趣旨にも非ず當局者の考を以てす

政黨も政府に向て懶惰でも反對の情あるに非  
生質は寧ろれどなしきものなれども從來の政  
之を敵として我より種々に挑みたればこそ其

遂に相反目するに至りしもどなれ<sup>はなれ</sup>へば大  
へが如く人の方よりからかへばみそ吠付も<sup>ほづき</sup>  
るどぶれ<sup>も</sup>聞<sup>き</sup>ま<sup>す</sup>て<sup>お</sup>出<sup>で</sup>さ<sup>う</sup>シ<sup>テ</sup>シ<sup>カ</sup>。

其趣を顧みどもなかる可し今之對議會等  
ると同様にして見に角に手出せざるを以て

から好んで其趣を賣ふの趣と爲されば民  
次第に軟んで議場の論勢自から静穩に歸す

五十五分、午後一時五十分、五時二十分、六時三十分、七時十三分

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

○帝國ホアルの法  
て儀はせる法語會は華  
餘名來會し傳道院の久  
寺の野上連海、豊島の久  
源代輔本正藍氏の祝辭  
話わられて參聽者には三  
の感會なりシズ。

"I never in my life,"  
after a sermon in Weston  
congregation. They were  
"No wonder," said  
were inside your hat, as  
remained on the top, a  
silence. "The Dean was  
the of action in preaching

此身はマダ生涯の中に今  
とはない彼等は夢中に成  
此身に目と着けた  
と云ふは内裏の答へに  
夫れには不思議は御在マ  
が御在ましたがあなたが  
秋の間は始終あなたの願  
ら